令和７年度　宮城県建設センター研修
「公共土木施設災害復旧事業研修（実践編）」
実施要領

６月１１日現在

１　研修目的

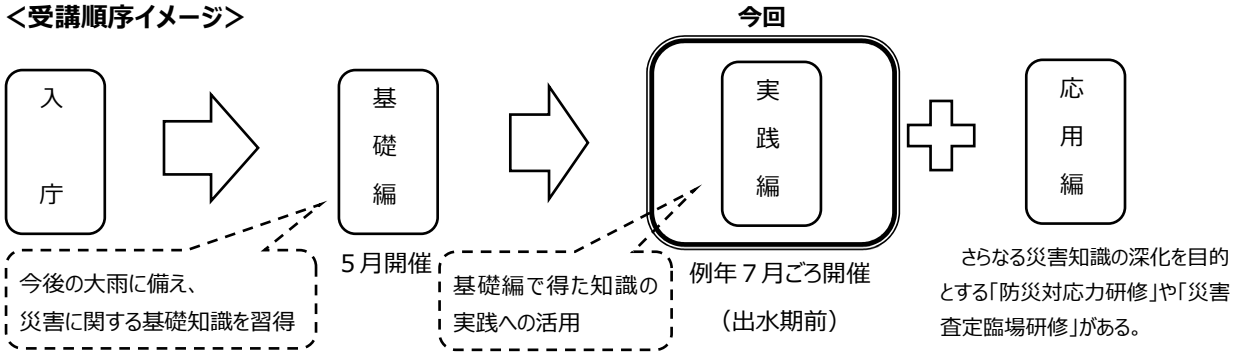
災害査定の経験が少ない職員が公共土木施設災害復旧事業の制度について、これまでに得た知識をもとに災害査定の準備から朱入れに係るまでの一連の流れを、「模擬査定」により経験することで、有事の際に役立つ知恵の体得を目的とし、行政機関の土木技術職員としての業務遂行能力の一層の向上に資する。

２　研修概要

本研修は公共土木施設災害復旧事業研修（基礎編）の実践編として位置づけられており、基礎編で得た知識の実践への活用がねらいである。公共土木施設災害復旧事業の制度や復旧のポイントに関わる講義により、災害復旧事業の基礎知識を復習した後、被災状況の現地調査から災害模擬査定までの基礎的な演習を行う。

◎宮城県土木部の受講イメージであるが、市町村においても、下記順序で受講することが望ましい

<受講順序イメージ>



上図の受講順序イメージは、必ず、これによって受講することを示したものではないが、より一層理解しやすく、効果的に災害復旧実務を体得できることが見込める、理想のイメージである。

３　共催　宮城県、公益社団法人宮城県建設センター

４　対象者

県、市町村及び石巻地方広域水道企業団の災害実務担当者で、令和７年５月に開催された「令和７年度公共土木施設災害復旧事業研修（基礎編）」を受講した職員のほか、災害復旧事業の経験が少ない若手職員もしくは近年災害復旧事業に携わっていない職員を対象とする。ただし、「令和７年度公共土木施設災害復旧事業研修（基礎編）」を受講していない方は基礎編の資料を一読のうえ、参加すること。受講希望者が定員を超過した際には事務局で人数調整を行う。（自治法派遣職員、任期付き職員及び再雇用職員は除く）

５　募集定員　４０名程度

６　実施期間　令和７年７月２９日（火）から７月３０日（水）まで（１泊２日）

※研修は２日間行います。１日のみの参加はできません。

７　研修場所

東北自治総合研修センター

住所：〒９８１－３３４１　富谷市成田二丁目２２－１

TEL：０２２－３５１－５７７１　FAX：０２２－３５１－５７７３

８　研修内容　別紙「研修内容」のとおり

９　研修会費　無料

１０　宿泊施設

本研修は、原則として全員が下記の宿泊施設に宿泊することとしますが、特別な事情により、通所での受講を希望される場合、その旨を申込書の備考欄に記入してください。

（１）宿泊場所　東北自治総合研修センター「青葉寮」富谷市成田二丁目２２－１
TEL：０２２－３５１－５７７１

●「利用の手引き」参照 https://www.thk-jc.or.jp/zaidan/pdf/tebikiR6.4.pdf

（２）宿泊費用　宿泊費について、**市町村・石巻地方広域水道企業団・建設センターは各団体に１通請求書を発行（※１）し、研修２日目に渡しますので、後日精算してください。**

（３）食 事 等　朝食・夕食については給食制（**夕食 900 円、朝食 600 円は宿泊費に含む**）となります。ただし、次の場合は給食制の対象外となります。研修前日に前泊する際の食事、食物アレルギーなど健康上の理由がある旨の申出があった場合。なお、昼食については食券制です。

（４）前 泊 等　遠隔地等の事情により、前日から宿泊を希望する方は、別紙申込書の前泊希望欄に記載願います。（なお、前泊時の入寮に当たっては、午後１０時までに１階管理人室で入寮の手続きをしてください。）

（５）宿泊用品　洗面用具、タオル類、着替え、上履きなど宿泊に必要な一式は、各自準備願います。

１１　受講者側の準備物

筆記用具（赤鉛筆は必須）、**災害手帳**、印鑑（出席確認用）、電卓（関数電卓）、三角スケール、カメラ、コンベックスルール、ヘルメット、作業着、長靴、軍手、雨具　等

※　テキストは**７月２３日を目処に**、県職員はデスクネッツ共有文書に保存、市町村・石巻地方広域水道企業団職員は建設センターより配付するので、各自印刷の上、当日は持参願います。

○事務局では、次の道具を準備します。スタッフ、巻き尺、赤白ポール、起終点旗　等

１２　宿泊費・旅費

県	５，６００円	（防災砂防課一括支払い）
市町村・石巻地方広域水道企業団	５，６００円	
仙台市・建設センター等	６，４００円	

参加者の旅費等については、所属において負担願います。

１３　その他

（１）定員に限りがありますので複数名を申込む場合【優先順位】をいれてください。

（２）本研修は２日間の研修であり、原則として途中参加、途中退席はできません。

（３）研修初日は、受付を済ませた後、開講の１５分前（午前８時４５分）まで、研修室【３０３】に入室し指定された座席に着席願います。

午前中に現場実習があるので、作業着に着替えて、玄関のブルーシートに長靴・ヘルメットを置くなど、現場の用意をしておくこと。

（４）１日目に**懇親会（希望者）の開催を予定しております。**

懇親会の金額は、宿泊の場合　3,300 円、通所の場合　4,200 円　（※２）

研修受付時に**出欠の最終確認を行い**、現金で集金いたしますので、釣銭の無いよう、お願いします。

（５）研修受講中の服装及び履物は研修にふさわしい常識的なものを着用してください。

（６）駐車場に限りがありますので車で来所の場合、乗合い等のご協力をお願いします。

【重要】

※１　請求書は、各団体で１通発行することを原則としておりますが、会計の都合上、複数を希望する場合、宛名、人数などの必要情報を 7 月 11 日午前までにお知らせください。（**宮城県建設センター総務企画部　総務課**　TEL:022-263-1432　）

※２　懇親会は食堂で行い、宿泊費用 夕食費　900 円の他、3,300 円を集金します。通所者は夕食費 900 円に 3,300 円を加算した、4,200 円となります。

令和７年度　公共土木施設災害復旧事業研修（実践編）　研修内容

別紙

6月16日現在

月　日	時　間	科　目	講師等	備考
〈１日目〉 ７月２９日 （火）	8:30 ～ 9:00	**受付 ／ 開講**	防災砂防課 防災企画班 宮城県建設センター	0:30
	9:00 ～ 9:05	**開講のあいさつ**	防災砂防課 総括課長補佐	0:05
	9:05 ～ 9:10	**研修の内容について解説** ・本研修における演習内容と習得いただきたいこと	防災砂防課 防災企画班 技術補佐（班長）	0:05
	9:10 ～ 10:35	**わかりやすい災害復旧事業・** **『美しい山河を守る災害復旧基本方針』の解説**	国土交通省　水管理・国土保全局 防災課 災害査定官	1:25
	10:35 ～ 10:45	**現場演習内容説明**	防災砂防課	0:10
	10:45 ～ 12:15	**被災調査演習**　（河川災現場を予定）バス移動含む ・研修所近隣の被災現場において現地調査	防災砂防課 宮城県建設センター職員 みやぎ災害復旧サポート員	1:30
	12:15 ～ 13:15	**昼食**		1:00
	13:15 ～ 13:25	**演習内容説明**	防災砂防課	0:10
	13:25 ～ 13:55	**被害報告演習** **・現場データ整理** **・概算被害額報告**	防災砂防課 宮城県建設センター職員 みやぎ災害復旧サポート員	0:30
	13:55 ～ 17:00	**査定設計書作成演習**　(河川災箇所を予定) ・被災メカニズムの整理（AB表等） ・復旧工法の検討（設計手法等） ・図面作成（設計図面作成，数量算出等） ・査定設計書作成（総合単価を使用） ・査定写真作成　等 途中休憩 １５分含む	防災砂防課 宮城県建設センター職員 みやぎ災害復旧サポート員	3:05
	17:00 ～ 17:15	**オリエンテーション**	東北自治研修所	0:15
〈２日目〉 ７月３０日 （水）	8:30 ～ 9:00	**災害復旧技術専門家について情報提供** ・災害復旧技術専門家制度の活用について	災害復旧技術専門家	0:30
	9:00 ～ 9:30	**設計書審査演習** ・作成した設計書について審査を受ける	防災砂防課 宮城県建設センター職員	0:30
	9:30 ～ 12:15	**模擬査定演習（机上）** **・申請者の読み上げ** **・被災メカニズムの説明** **・復旧工法の申請内容の説明** **・付せん記入** 途中休憩 １５分含む	防災砂防課 宮城県建設センター職員 本省災害査定官 災害復旧技術専門家	2:45
	12:15 ～ 13:15	**昼食**		1:00
	13:15 ～ 14:30	**修正設計書作成** ・査定官の指示事項により対応する	防災砂防課 宮城県建設センター職員	1:15
	14:30 ～ 15:30	**朱入れ演習** ・変更内容読み上げ ・指摘事項の説明 ・朱入れ	防災砂防課 宮城県建設センター職員 本省災害査定官 災害復旧技術専門家	1:00
	15:30 ～ 16:10	**グループワーク** **・これまでを通して感じたこと、疑問点の共有**	防災砂防課 宮城県建設センター職員 本省災害査定官 災害復旧技術専門家	0:40
	16:10 ～ 16:25	**講評**	防災砂防課 宮城県建設センター職員 本省災害査定官 災害復旧技術専門家	0:15
	16:25 ～ 16:30	**閉講のあいさつ**	防災砂防課 総括課長補佐	0:05

※カリキュラムは都合により変更することがあります。

◎建設センターからの連絡事項について

本研修は，宮城県土木部（防災砂防課）と共催研修のため，実施要領，研修日程等を確認の上，下記のシステムに『**申込書 Excel ファイルを添付する』方法のみ**で申込んでください。

【 申込先及び問合せ先 】　**令和７年６月３０日（月）午後１時必着**

担当：公益社団法人宮城県建設センター 総務企画部　総務課　企画研修係

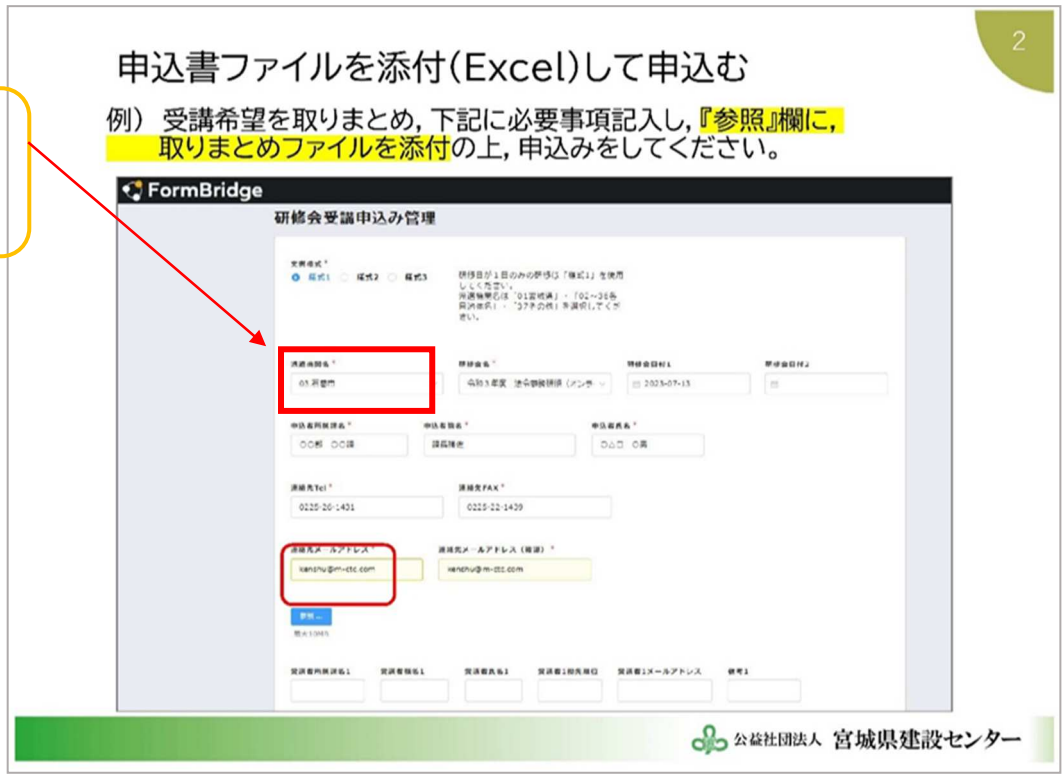
（TEL：022-263-1432）

＜ 申込み方法 ＞　申込方法は，**『研修会申込情報管理システム』のみ**となります。

① 各団体において取りまとめの上，ホームページ　http://www.m-ctc.com/ から『研修会申込情報管理システム』にアクセスし【様式１】を使用して申し込む。

② 本研修は複数名希望の場合，優先順位，「公共土木施設災害復旧事業研修（基礎編）」の受講の有無等について、必ず記載する。

○申込書記載内容は，下記のとおりです。

No.	市町村コード等	市町村名	所属部	所属課	職名	氏名	ふりがな	性別	災害経験年数	具体的な査定対応の経験回数	災害研修(基礎編)(R7.5開催) 受講（○・×）	宿泊 ○・×	前泊 ○・×	懇親会 ○・×	優先順位	備考（※）
1	205	気仙沼市	建設部	土木課	技術主査	宮城　健太	みやぎ　けんた	男	2年	2回	○	○	×	○	1	
2	424	大衡村		都市建設課	技師	仙台　三郎	せんだい　さぶろう	男	0年	0回	○	○	×	○	2	
3	581	女川町		建設課	主任主査	建設　花子	けんせつ　はなこ	女	1年	1回	×	○	×	○	1	
4		#N/A														

こちらから，
市町村名を必ず
選択してください